

松江市 法吉地区 自然観察モデルコース

常福寺川コース

常福寺川に沿って長谷入口を経て常福寺前より北進して白鹿上池までの約2kmの行程です。

ここでは、ホタルを中心として、魚類や水生昆虫、カワニナなどが観察できます。

白鹿山コース

白鹿山登山口より尾根を登ります。頂上を経て本丸から大井戸へ下り、西の谷登山口から舗装道路を経て白鹿上池までの約2.5kmの行程です。

ここでは、多くの植物の観察ができます。また、戦国時代の築城の様式が各所で見られます。

常福寺川コース + 白鹿山コース

1日で2つのコースを観察される場合は、長谷入口から白鹿山コースを観察し、白鹿上池より常福寺川コースを逆行する順路で常福寺川を下りながら川の生物や護岸、ホタル公園などを観察するコースをおすすめします。

歴史

1473年、備前国（岡山県）から来た松田氏が、白鹿山に築城し、真山・小白鹿山・伊吹山・末次山（松江城）・和久羅山などに出城をかまえ、今の橋北地域を治めていました。

その後の落城を経て、1600年、堀尾吉晴が出雲国に入り亀田山（末次）に松江城を築くまでは、この地がこの地方の中心となっていました。したがって、この観察路のすべてが昔より利用された所で、特に白鹿山の登山道や各所削平地は、今から約400年以前の築城時に工作され、その後はそのまま残り貴重な遺跡となっています。



ポイント
夜にホタル見学をされる場合は、それまでに一度、常福寺川コースをマスターしておかれると安全で、より理解が深まります。



このコースで見られる植物

コースを歩いていると、いろんな色や形の花や葉っぱ、木の実をつけた木がみられます。その下にも可憐な花をつけた植物がコースを彩っています。その特長をメモをしたり、写真に撮って、どんな植物が生えているか調べてみましょう。

また、このモデルコースでは、いくつかの樹木に名札がつけてあります。次の種類の樹木を探してみましょう。

ナツハゼ・ミツバツツジ・ネジキ
タカノツメ・ヒサカキ・ヤマザクラ
ナナカマド・ヤマモモ・コナラ
クロモジ・アカマツ・ノグロミ
シラカシ・ソヨゴ・ムベ・アセビ



わずかですがゲンジボタル
が見られます

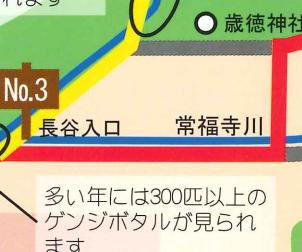


春日3区バス停

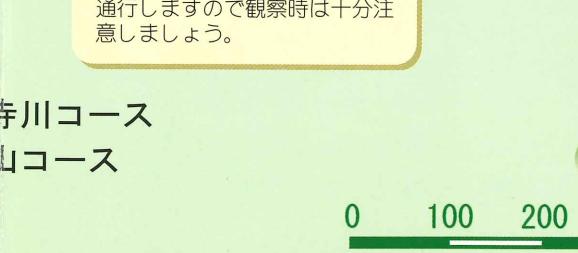
ガソリンスタンド

ガードレールとガソリンスタンド
が目印

▲ 大高丸



▲ 真山



ゲンジボタルや
ヒメボタルが見られます



カワムツ

常福寺川コース
白鹿山コース

0 100 200 300 400 500m





さまざまな出会いや
発見のある自然散策に
出かけてみませんか

松江市 法吉地区 ガイドマップ



自然観察にあたっては、下記の点に留意して下さい。

- (1)コース以外の道には立ち入らないようにして下さい。未整備や危険な場所があります
- (2)植物の採掘や山菜、生花の切り取り、摘み草、採果、伐採などはしないで下さい
- (3)火の利用はすべて厳禁です。火気には十分注意して下さい。
また、雨天の翌日などは急坂がすべったり、崖の崩壊、出水などの心配があります。火災や災害、事故などには十分留意して下さい
- (4)ゴミを見つけたら、拾って持ち帰るようお願いします
- (5)その他、登山のマナーを守って散策してください

ホタルの観察

ホタルを観察するときは、時間配分や事故予防のため、必ず明るいうちに観察地の下見をしておきましょう。

懐中電灯を使う時は、発光部に赤いセロファンを貼ってなるべくホタルを刺激しないようにしましょう。

ゲンジボタル



体長 10~16mm前後
飛ぶ時期 最盛期は6月10日前後
観察地 成虫は水辺や水田脇の用水路周辺など
食 物 幼虫は主にカワニナ

ヘイケボタル



体長 7~10mm前後
飛ぶ時期 6月ころ~8月中旬
観察地 成虫は水田の用水路や周辺の水辺など
伊吹山の北山麓やホタルの里公園上流の山すそあたりで見られる
食 物 幼虫は主にカワニナやモノアラガイなど

ヒメボタル



体長 6~9mm前後
飛ぶ時期 7月~8月ころ
観察地 成虫は夜遅く、山の中や湿地の草地など
白鹿谷の特定の谷沿いの数10m前後の小範囲で見られる
食 物 幼虫は主にカタツムリの仲間など

ホタルの生息環境づくり

減少していたゲンジボタルの生息数を回復するための環境づくりとしてホタルブロック護岸やホタル公園の整備が進められ、今では少しずつ回復しています。

第2淞北台団地横の常福寺川には、ホタルブロック護岸があります。このブロックは川側に穴があり、この穴に土を入れ、その裏をコンクリートで補強する構造のものです。その穴の土に植物の種を蒔き、草土手に近い環境をつくってホタルが生息できるようにしています。

白鹿ホタルの里公園では、自然素材を用いて、ホタルが生息できる環境を整備しています。



ホタルブロック護岸



白鹿ホタルの里公園

野鳥の観察

出雲風土記に「法吉の郷に、ウムガイヒメノミコトという神様が、ホウキドリになって飛び回った。そして、このところに鎮まれた。故に法吉という」と書いてあります。法吉鳥とは、ホーホケキョの鳴き声からきた名前で、ウグイスのことだと言われています。実際に白鹿山の西には鶯谷という地名もあり、多くのウグイスの鳴き声が聞けます。

最近は周辺の開発が進み、野鳥の生息地も狭まりつつありますが、付近では約40種類の野鳥が観察できます。

●水辺で見られる鳥（常福寺川、白鹿上池、白鹿下池、長谷池）
アオサギ、ゴイサギ、コサギ、カツブリ、マガモ、キセキレイ、セグロセキレイなど

●山奥の森林や雑木林で見られる鳥（本谷渓谷、長谷、白鹿）
フクロウ、カッコウ、コグラ、コガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ホオジロ、キジ、オオルリ、アオジ、ホトトギス、シロハラ、ヤマドリ、ミソサザイ、ゴジュウカラなど

●田畠や人家の付近のやぶや林で見られる鳥

タシギ、カワラヒワ、ツバメ、ヒヨドリ、ハクセキレイ、ジョウビタキ、キビタキ、ツグミ、エナガ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、アトリ、カラス、トビ、モズ、キジバト、ヒバリなど

チョウの仲間

よく見ると、大きいアゲハチョウの仲間や、はねに目のような紋やヒョウのような斑紋がある仲間など、いろんな種類が見られます。



モンキアゲハ



モンシロチョウ



ヒカゲチョウ



メスグロヒョウモン



テングチョウ



ベニシジミ



イチモンジセセリ

ミスマダカウコナ

体長4cmあまりの淡水産の大形カワニナ。体層が太く、その体層に2~3条の色帯がよく発達しています。川藻を食べ、ゲンジボタルのエサとなっています。常福寺川の上流の清流域に生息していますが、近年その下流域では個体数が減少するとともに小形化してきています。

